

平成27年度 大好評!「わが家のすこやか日記」

泣いたり、笑ったり、時にはおこったりと子育ては日々ドラマの連続です。「わが家のすこやか日記」では、家族のふれあいや子育てに関するエピソード等、子どもから大人まで様々な世代の方から昨年お寄せいただいた作品のうち、優秀作品11作品を紹介いたします。(学年は受賞時)

お母さんのお手紙でがんばれるで賞

『おべんとう』

倉敷市立味野幼稚園 山根 菜音

ぼくのおべんとうにはいつもママのおてがみがはいています。ぼくはおてがみがうれしいです。おてがみにきょうのおやつが書いてあるとおべんとうよりたのしみです。おべんとうにぎらいなものがはいていてもがんばって食べます。

すてきな家族の団らんで賞

『わがやのルール』

真庭市立中津井小学校 第2学年 大森 こころ

わたしのいえには、ルールがあります。それはノーマディアデーです。テレビを見ないことです。わたしはちょっといやだけど、いもうと、おもちゃやピアノであそびます。なので、「おなかすいた〜。」と言いながらたべます。そして、夜もノーマディアデーです。きょうあったことを一人ずついいます。みらいとおかあさんおとうさんとでぐらぐらとわらいます。よるの時間はたのしいです。「ごちそうさまー。」「ハッハッハッハッハッハー。』

お母さんの思いが伝わったで賞

『わたしの手紙』

倉敷市立万寿小学校 第4学年 高下 紗季

私は、お母さんとけんかをしてしまいました。私がクローゼットにいとなくお母さんのけしゅう箱を見たくなり、はっとしました。お母さんのけしゅう箱に大事にしているわたしの手紙がはいていました。わたしは、なみだがでそうになりました。わたしは、一生けんめいかじをしているお母さんを見て「あやまろう。」と心から思いました。

「伝えること」は大切で賞

『つたえる』

岡山市立妹尾小学校 第6学年 美藤 さくら

私の家でかならずやること。それは、自分が思ったことはすぐに口にだして伝える、というのをしています。そのきっかけは、お父さんです。私のお父さんは私が一年生のとき、急になくなってしまって、私達が伝えたいこと、言っておきたかったことなど、ぜんぜん伝えられなかったのです。とってもこうかいます。だから、自分が思ったこと、言いたいことは、伝えよう!ということからはじまりました。そのおかげで、今こうかいていることはありません。これからも続けていきたいです。

お父さんの宝物になったで賞

『父の日に』

県立津山高等学校 第1学年 河本 明日佳

いつからか、父と話す機会もかなり減ってしまっただけで、父の日も、ここ数年何もしていない。そんなことをふと思い、夕方にレターセットをとりだして手紙を書いてみた。少し恥ずかしかったが、父の日に渡した。すると一あ父が泣いた。初めて見た。なんだか、恥ずかしさはもうなくて、うれしかった。家族もずっと一緒にいられるわけじゃないし、自分の気持ちを伝えられることがこんなに大切で素晴らしいんだと思った。

父の背中を見て育ったので賞

『最後の親子ゲンカ』

倉敷市 若狭 庸子

「中学の先生からでんわだよ。」と毎週くらい私の会社に電話がかかる。十五年前息子はいわゆるヤンキー、金髪にピアス、夜間補導。作業着姿の主人と何度頭を下げただろう。そんな息子が三年後いい就職を付けてしまった。「スーツ着て楽ができるじゃろうが。」と怒った父。「誰が親父の仕事が汚いかいやなんて言ったか。俺は親父みたいないい職人が夢なんじゃ。」と言い返した。それから主人は息子を叱れなくなった。今は建築士になり、父をすでに超えている。

家族みんなで食べるとおいしいで賞

『きょうのおひるごはん』

勝央町立勝間田小学校 第1学年 西元 和夏

おかあさんがいそがしかったので、おとうさんといっしょにそうめんをゆがしました。つくえにすわっておとうさんとおねえちゃんと、たべました。おいしかったけどおかあさんがすわっていないから、いつもとちがいました。とちゅうからおかあさんがきて「つくってくれたんじゃなーありがとうありがとう。」といました。びっくりするくらいそうめんがおいしくなりました。やっぱり四人がいいな。もうちょっとまったら、よかったかな。

お父さんの優しさが伝わるで賞

『お父さんのぎゅう』

高梁市立松原小学校 第3学年 谷 美悠

お父さんは、仕事から帰ってくると第二人と私の三人を必ずぎゅうつかわりばんこにだっこしてくれます。とても気持ちよくて、うれしい気持ちになります。それを見て、お母さんはいつもわらわらしながら、「うらやましいわあ。」と言います。私は、これからもずっとおとうさんにぎゅうつとしてほしいです。

おばあちゃんに感謝で賞

『おばあちゃんからの注意』

倉敷市立万寿小学校 第5学年 松下 未侑

私の家では、いつもみんなでごはんを食べています。お父さんは仕事でいないのでお母さん、おばあちゃん、おじいちゃん、妹と食べます。ごはんを食べる時になると、私はとてもいやになります。「今日もまた言われるのかあ。」と。私がごはんを食べているといつもおばあちゃんに「おぎょうぎが悪いよ。」と注意されます。私はそれがいやなのです。「気をつけているのに。」と思います。ところがある日、私の友だちに「おぎょうぎがいいね。」と言われました。私は「これはおばあちゃんのおかげだ。」と思いうれしかったです。おばあちゃんいつも注意してくれてありがとう。

家族のアルバムは愛情のしるしで賞

『家族写真』

岡山市立興隆中学校 第3学年 石丸 海里

うちの家族は、私の誕生日や何かの節目の日になると、きまって家族写真を撮ります。これは、私が生まれる前から続く家族の行事のような物になっています。撮った写真は一つのアルバムにまとめられていて、いつでも見られます。両親が若い頃の写真もあって、「こんなだったのか・・・」と今と変わりに驚いたりもします。この写真を見ると今までどれほど大切に私を育ててくれたかが、ものすごく伝わってきます。この愛情をいろんな形で恩返ししていきたいと思いました。

お母さんのすてきな子守歌で賞

『とーさんとかーさんの宝物』

真庭市立天津幼稚園 保護者 今石 真理子

六才と三才の娘たちに寝る前に毎晩必ず「かなちゃんとなるちゃんは、とーさんとかーさんの宝物じゃけん。」と言います。布団に入って寝る準備ができると「ほんなら言うて!!」と上の子が言うので、それが合図です。一度で言うことを聞かず、怒られてふてて布団に入った夜でもこの一言を言わないと一日が終わった気がしない私です。何がきっかけで言い始めたのか全く覚えていませんが、かれこれ二年半はたちます。この一言が子守歌替わりのように安心して寝られるうちは、夜勤はしたくないなあと思う私です。